

令和5年度 片原一色小学校学校運営協議会 第2回会議報告

令和5年10月19日(木)

10:30~12:00

於 会議室

1 開会の言葉

(参加者) 地域代表4名、保護者代表3名、学校代表5名

2 校長挨拶

- ・ 運動会を熱中症予防の観点から、総時間を2時間に制限して実施した。練習においても熱中症対策を行い、運動会当日は、演技や運動会を支える仕事に活躍する児童の姿や大声を出して応援し合う児童の姿を保護者や地域の方に見ていただくことができた。午後開催される地区体育祭で、地域の力を感じた。児童をどのように保護者へ受け渡していくかが、来年度も考えていくべき課題である。
- ・ GIGAスクール構想の実施に伴い、稲沢市の方針をうけ、タブレットPCを2~6年生が毎日持ち帰っている。学校評価の保護者アンケートでは、タブレットPCの持ち帰りにより、ランドセルが重いという意見が多く聞かれた。教科書類を学校に置いていけるのに持ち帰っている実態もあるので、担任による指導と、置いていける環境づくりを進めていく。

3 協議事項

(1) 教育活動の経過報告について

① 7月学校評価の集計結果について(教頭)

- ・ 児童の生活について、「友達と協力して仲良く生活している」という点は、保護者、児童、教員ともに高い評価となっている。高学年児童が低学年児童の世話をよくするというのは、本校の特色でもあり、異学年で活動する機会を設け、継続的に行っている成果である。本年度は、運動会でも縦割りの学級をもとにして紅白チームに分け、異学年の仲間との交流を深められるようにした。今後も、縦割り活動をより充実したものとなるよう改善していきたい。
- ・ 課題となっていた「学校へ行くことを楽しみにしている」の児童の回答において、肯定的な意見が昨年度より増えた。学校評価として全体的な傾向を見ることとともに、「全く当てはまらない」と回答した児童に対しては、教育相談を中心に丁寧にに関わり、一人一人の困りごと、悩みの把握に努める。また、子どもたちの取組をタイムリーに褒め、認めながら学校へ行くのが楽しくなるように引き続き取り組んでいきたい。
- ・ 「子どもたちは夢や希望をもち、目標に向かって努力している」の結果が、昨年度より低くなっているのが気になる。校外学習や出前授業等を積極的に取り入れ、様々な体験活動をさせるとともに、特別活動を中心に、どんな自分になっていきたいかを意識させながら、目標づくりや振り返りを丁寧にを行い、自分自身の成長を感じさせていきたい。
- ・ 学校施設・設備について、保護者・児童・教員ともに低い評価であった。定期的な安全点検に加え、子どもの目線での気づきを取り入れながら校内の施設・設備を見直し、計画的に施設・設備の修繕と充実に努めていく。

② 教育活動について(教務)

- ・ 前期には、15の出前授業(現地での授業2、リモートでの授業1を含む)を実施することができた。一つ一つの出前授業を、どの教科のどの単元に組み込むかなど、カリキュラム上の課題も残っているが、児童は大変意欲的に学習に取り組むことができ、事後の児童の感想からも学習効果は高いといえる。地域の先生に学ぶことは大変貴重な経験である。
- ・ 全国学力学習状況調査の結果より「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)」の設問では、全国や県に比べて時間が少なくなっている状況が数年続いていることや「10分よりも少ない」「まったくしない」と答えた児童が多くいる現状がある。学校でも読書タイムや読書郵便などの取り組みを充実させていく。日頃から、短い時間でも読書時間を確保したり、家族や友達と読書に

関する話題や感想を交換したりするなどして、関心を高めていく必要がある。

- ・ 学校の授業時間以外で、PC・タブレットなどの ICT 機器をどのように勉強に使っていか。家庭での学習習慣づくりとともに、学習習慣の定着に向けて学校の支援も課題である。

③ 施設・設備について（校務）

- ・ ジャングルジムの塗り替えを行った。（8月）
- ・ 運動場南の民家との境界の一部にフェンスが設置された。（10月）
- ・ 2階廊下にスピーカーを設置する工事が予定されている。（10月）
- ・ 校舎内東階段（1～2階）の滑り止め取替工事が予定されている。（10月）

（経過報告についての協議） 主な話し合いの内容は以下の通りです。

- ・ タブレットPCの持ち帰りについて、各家庭によってWi-Fi環境が違うので、接続ができないなどの不都合が生じているようだ。環境を整える必要があるのではないか。
 - 学校内のWi-Fi環境は良くなってきている。Wi-Fi環境がない家庭には市よりWi-Fiの貸し出しもあるが、通信費用は家庭負担である。各家庭のWi-Fi環境については、家庭に任せるしかない。
- ・ 学校の施設・設備は、数十年前と変わっていないところもある。例えば、運動場のグリーンサンド化について、市より整備の見通しを伝えてはもらえないのか。
 - 数年先の整備の見通しは教えてもらっているが、その中に本校ははいつておらず、いつ整備してもらえるかは未定である。学校では、毎年、優先順位を付けて、市への施設・設備の修繕の要望を出していく。

（2）本年度の学校課題に関する意見交換

（事前アンケート「どのような子どもたちに育ってほしいか」を基にした協議）

＜このまま伸ばしてほしいところ＞

- ・ 異学年とのかかわり（縦割り活動）を通して
 - 年上・年下とのコミュニケーション力、年長者の自覚
- ・ 子どもらしさ
 - ・ 元気に遊ぶこと
 - ・ 思いやりの心

＜もう少しがんばってほしいところ＞

- ・ 自ら課題を解決しようとする力
 - ・ 見通しをもつ力
- ・ 時間を管理すること
 - ・ 体を動かす遊びをすること
- ・ 防犯意識と地域交流のかね合い

＜身に付けさせたいこと＞

- ・ 地域の方にあいさつしたりお礼が言えたりすること
- ・ 自分から進んで行動する力（自分で考える、人に聞く、自分で調べる）
- ・ 新しい環境に順応する力
 - ・ チャレンジする気持ち
- ・ リーダーシップを発揮すること
- ・ 同学年にも相手の気持ちを考えて接すること

校長：地域も学校と同じように捉えていることが分かった。今後、学校教職員も同じように子ども像について検討していく予定である。

教頭：今年度の振り返りをするとともに、本委員会の話し合いの内容も含めながら、次年度検討委員会で来年度の学校運営基本方針について全職員で検討していく。

4 その他

- ・ 第3回学校運営協議会は2/29（木）に実施予定。

5 閉会の言葉